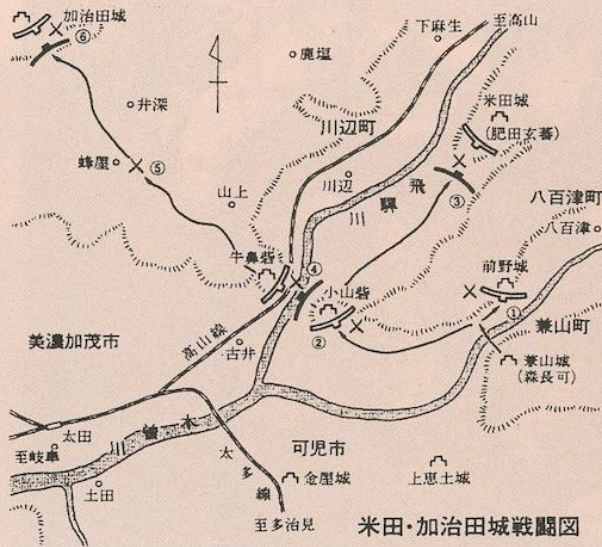


ふるさと 資料紹介

=77=

ところが、この葬儀のすきを突
き、玄蕃允が金山城への奇襲を
計画します。ここから森氏と肥
田氏の雌雄を決する合戦が、激
しく展開されることになるので
す。



▶『戦国合戦大事典』第5巻128頁
(新人物往来社・1988年)から

史料と地名からみた 地区の歴史32

下米田(二)

戦国時代の終わりごろ、米田ひたげんばのかみは肥田玄蕃允の領地であり、周辺には米田城のほかに支城や砦が築かれていました。また、この近隣では、織田信長配下の森長可もりながよしが金山城(現兼山町)を支配しており、両者の間には緊張関係が続いていました。

天正一〇(一五八二)年6月2日、京都で有名な本能寺の変が起こります。同事変により、森長可の弟である森蘭丸もりらんまるら三兄弟は、戦死を遂げます。三兄弟の葬儀は、1カ月後に金山城で行われる予定となっていました。

今回は、次の方から貴重な資料を寄贈いただきました。ありがとうございます。

(平成九年十月分)

○脱穀機など

(丸義商店さん／森山町)

○自在かぎなど

(市原滋弘さん／三和町)

計画中の博物館建設のため、現在いろいろな資料を収集しています。文化課(文化会館内)／**■内四〇八**まで情報をお寄せください。